

佐賀県研究成果情報（平成 26 年度）

ハウス栽培ナシ「幸水」の発芽不良樹に対する発芽促進剤の効果					
[要約] ハウス栽培ナシ「幸水」の発芽不良樹に対してシアナミド剤である CX-10 を散布すると開花期が促進される。さらに花托の異常が少なく、花は大きく果梗も長く <u>充実した花</u> が多くなり、 <u>果実肥大</u> も良くなる。					
果樹試験場・落葉果樹研究担当			連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp	
部会名	果 樹	専 門	栽 培	対 象	ナシ

[背景・ねらい]

佐賀県内のナシ生産地では、毎年発芽不良や発芽遅れの症状がみられるナシ樹が存在する。発芽の異常により収量の減少をもたらすため、対策技術の開発が必要である。そこでこれらの症状を軽減するために、発芽不良樹にシアナミド剤である CX-10 を発芽前に散布し、その効果について検証を行う。

[成果の内容・特徴]

1. ハウス栽培ナシ「幸水」の発芽不良樹に、発芽前の DVI=1.4 の時期（1 月中旬頃）に CX-10 を散布すると、無散布区と比較して開花期が 3 日程度促進する（図 2）。
2. CX-10 の散布により、花が大きく果梗も長くなり、花托の異常も少なく充実した花そうが多くなる（表 1）。
3. CX-10 を散布すると、果実肥大が促進し果重が重くなる（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. ハウス栽培ナシ「幸水」の発芽不良樹の発芽促進対策技術として活用する。
2. CX-10 の散布濃度は 10 倍希釈で、樹全体に散布する。
3. 曇天時に散布を行うと、薬液が下芽に滞留して芽枯れを引き起こす可能性があるため、散布は晴天時に行う。
4. 花芽の生育段階として催芽、発芽、出蕾始、出蕾、花蕾、開花の生育ステージ（図 1）を設け、調査を行った。

[具体的データ]



図1 花芽の生育ステージ

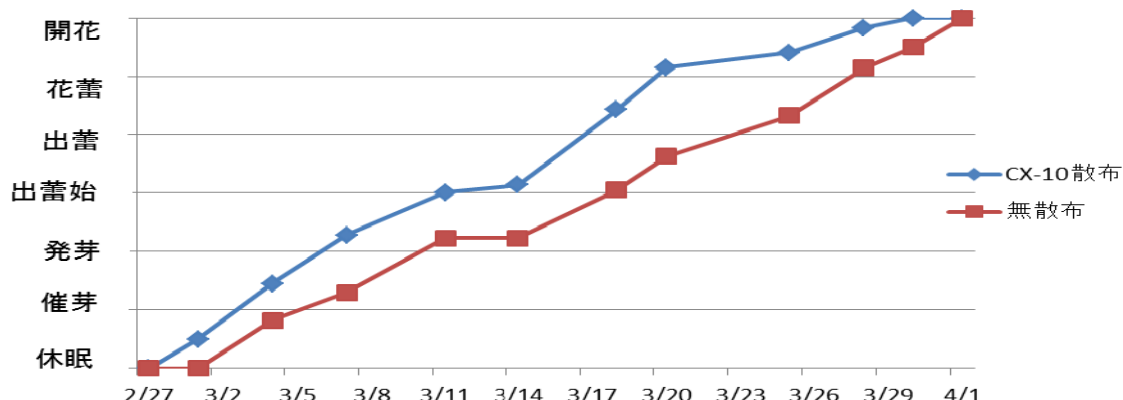


図2 ハウス栽培「幸水」においてCX-10 散布が発芽不良樹の花芽生育に与える影響

表1 ハウス栽培「幸水」においてCX-10 散布が発芽不良樹の花そうの形状に与える影響

調査項目 ^{z)}	親花数 (個/花そう)	子花数 (個/花そう)	花の直径 (mm)	果梗長 (mm)	花托の形状 ^{y)}	葉数 (枚/花そう)
CX-10散布	6.3	1.1	45.6	45.5	1.0	3.9
無散布	5.9	0.4	39.2	35.7	0.6	3.2
有意差 ^{x)}	n.s.	n.s.	*	*	*	n.s.

z)2012年3月に調査

y)花托の形状は、異常:0、正常:1で判定を行った。

x)*はt検定において5%水準で有意差有り

表2 ハウス栽培「幸水」においてCX-10 散布が発芽不良樹の果実品質に与える影響

調査項目 ^{z)}	果重 (g)	果実縦径 (mm)	果実横径 (mm)	果実指数 (縦径/横径)	果色 (cc)	硬度 (kg)	心室 (個/果)	種子数 (個/果)	糖度 (Brix)	pH
CX-10散布	388.7	76.4	95.7	0.8	3.5	4.3	7.2	5.8	10.5	5.26
無散布	331.3	71.6	89.8	0.8	3	4.5	7.5	5.7	10.2	5.18
有意差 ^{y)}	*	*	*	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*

z)2012/7/6収穫、7/9分析、果色はカラーチャート値

y)*はt検定において5%水準で有意差有り

[その他]

研究課題名 : ナシの発芽不良軽減技術の開発

研究期間 : 2010-2014年度

予算区分 : 県単

研究担当者 : 高須陽介、福田浩幸、加藤恵